



# つつじ祭を振り返る …各区の取り組み交流①…

## 野村区：味飯

野村区は今年も味飯を販売しました。80歳前後のおばあちゃん19人で材料の手配、下準備、炊飯、パック詰めなど全ての工程を担当していただきました。

メンバーの中には足腰が弱っている方もいらっしやいますが、それぞれが無理なく



祭の会場では毎年楽しみにお待ちいただいている方もあり販売開始より1時間ほどで完売となり誠にありがとうございました。

(野村区長：服部和義)

## 倉部区：巻き寿司

「倉部の巻き寿司」を目指して買いに来

て下さる方も多い中、天候に恵まれたことも手伝って、早々の完売となりました。



価格を変更しての販売(1パック250円)となり、用意した500パック：「売れるかな」の不安はすぐに払拭されました。材料費の高騰等、不安材料は残りますが、倉部区の伝統を大切にしていきます。(倉部区長：西口政敏)

## 山出区：霊山山麓水晶米

山出区では、恒例の山出地域の最上級の耕作田で収穫したコシヒカリ米を販売しました。

今年は、市内外からの常連さんが多く購入してくれ、午前中に完売しました。



購入してくれた方に理由を聞くと、昨年購入して「甘みと粘り気があり、とても美味しかった！」のという農家の人や、近所の人等のお土産に購入していく人、さらに、市内在住の中国人の女性の方も昨年、購入して「とても美味しかった！」のでも今年も買いに来ましたとのことでした。そして、連絡先も教えていただき販路拡大につながりそうです。

また、例年より多くの人々が、山出区のテントで休憩し、親睦と交流を深めている姿も見受けられ、区役員一同大変喜んでいきます。(山出区長：中島義文)

## 小林区：焼き鳥・きりり

例年の事ですので、業者に昨年と同様、1400本の焼き鳥を注文しました。ところが、納品された時に請求書を見てびっくり、焼き鳥1本の仕入金額が昨年(昨年も値上がりがあった)の倍になっており「何これ??」

今になっては注文した区長の私の責任です。この焼き鳥を販売するにどうしたらよいか、区民の皆さんと意見交換をし、まずは、  
①鳥の看板を作成して、国産で一番美味しい、ここの部位を使用している事を説明して納得を頂き買って戴く。  
②お客様に対しては真心を込めて対応する。

③1本1本の焼き鳥を丁寧に焼き上げる事を確認しました。おかげさまで、1400

本の焼き鳥が12時に完売いたしました。

ご購入を頂きまして、お客様誠にありがとうございました。また、小林区民の皆様、大変ご苦勞さまでした。区民の皆が、心を一つにして取り組む事の大切さを再認識しました。



(小林区長：伊室正一)

### 柘植青葉台区：焼きそば

今年も晴天に恵まれ、恒例の焼きそばを出店した。毎年思うのは、下準備としてのキャベツ切り、一回分の材料の仕分け作業、そして当日を迎え、早朝からのテント設置、焼くための準備として、木炭の火おこし、鉄板のから煎りなどなど大変さを考えたらさきがないことである。にもかかわらず役員やボランティアの合計20人余りが総出で、思い思いの持ち場をきりもりし、お客様や区民の期待にこたえべく奮闘するのである。

結果、お客様と

お区民、その役員、そしてほんの少しの不足はないだろうか。B級グルメとはいえない。お腹いっぱいになって。「案ずるより産むが易し」とはこのことか。また来年も頑張るぞ。先人のアイディアに敬服しながら。

(柘植青葉台区長：森恵美)

### 上町区：フランクフルト

恒例のフランクフルト、今年はミニジャンボに切り替え、値段を50円安くして150円で販売したところ、午前中に完売となりまして。準備や当



日の作業には区幹部に加え「お互い様」のボランティアの人も応援いただき活気がみなぎりました。

またテント内の休憩所には区内外の人達の交流の場ともなり、なごやかなつじ祭の一コマでした。よい天気にも恵まれ、柘植が誇る里山でのよき思い出につながる一日でした。(上町区長：丸柱祐道)

### 上村区：バナナ

バナナの販売は、今年で2回目になり余裕を持って望む事が出来ました。

しかし、バナナの仕入れ値は変動が激しく、販売価格をどうするかで苦労しました。が、試食を試み、これなら美味しいと自信を以て言えるものであった為、安くても美味しい物を皆さんに喜んでもらえればと、原価での販売を行い、完売する事が出来ました。その結果、多くの皆さんに喜んでくれた事が大変嬉しかったことです。



(上村区長：山岡幸五)

※次号に続く

# 鳥獣害対策協議会総会

生活環境部会



5月23日(火)午後、三重県伊賀庁舎にて、今年度の総会が開催されました。(出席者：大杉哲郎、西田方計)

総会当日には、「シカの被害対策」防護柵と捕獲について」をテーマで、県農業研究所の鬼頭さんの講演がありました。まち協としても県や市と共同で研修会を近々計画しています。

# 防犯担当者合同会議

5月23日(火)午後、伊賀警察署前の医師会館にて、伊賀市と警察による合同会議が開かれました。(出席者：西田方計)



三重県くらし交通安全課より、「安全で安心なミエンもまちづくりプログラム」事業の説明がありました。

# 今年の黒豆の種まき準備が出来ました

特産品創出事業実行委員会



6月3日に予定している黒豆種まき作業を控え、圃場周辺の草刈り作業を5月27日に実施しました。今年度は、2500平方メートルの圃場に種をまき12

月の収穫を待ちます。10月8日9日頃には、枝豆も販売する予定です。楽しみにしてください。

# 出前映画会、

## 下町区にて開催

教育文化部会

5月18日(木)の午後から昨年度から教育文化部会が取り組んでいる「出前映画会」が下町コミュニティセンターにて開催され、下町いきいきサロンの皆さん30名余りの方々に楽しんで頂きました。

作品は山田洋次監督、吉永小百合・二宮和也主演の『母と暮せば』を上映。一人暮らしの母親の前に長崎の原爆で死んだはずの息子が現れて、愛する息子を失った母の悲哀を描いた物語。上映後感動の涙が溢れてくる作品でした。



※「出前映画会」はご要望に応じて対応します。まち協の教育文化部会員(各区)にお問合せ下さい。

# ☆☆事務局だより☆☆

▼5月27日、7時半から4月14日臨時総会未決案件のための総会で、今年度の体制をやとつくることができました。▼いまは会長不在ですが、組織を機能不全にするわけにはいきませんが、事務局では着々と事務を進めています。▼同日8時からの定期総会では、今年度の事業計画・予算を承認いただきました。どれもこれからの柘植地域に必要な事業です。本日は、地域の課題の多さと比例してもっと計画し実行すべきこともあると思われしますが、どの事業主体もよくやっていたいており、これ以上は難しさを感じます。(なお、定期総会の詳細は次号に掲載します。)

▼本誌「まちづくりだより」のコンセプト：それは「まずは知ってもらうこと」、それに始まりそれに終わる。今年度もよろしく願います。(西田方計)